

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢（gift）を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

2560地区ガバナー 山本 和則

高田ロータリー会長 水上 喜芳

幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行

笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第17回例会 ■ 10月30日(金)

No.17

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

明日、明後日と2日間、当地区の
地区大会が新潟で開催されます。

例年遠方の地区大会ですと、温泉
地に前泊して翌日地区大会に参加するところ
ですが、新潟市内での開催と翌週の土曜日11月7日
友好クラブの米沢上杉ロータリークラブ第2800
地区の地区大会に参加予定となっています。

2週連続地区大会参加のため当地区の地区大会
は日帰を予定しています。

さて今月のロータリー特別月間『経済と地域社会
の発展月間』は、国際ロータリーが取り上げた
6つの重点分野の一つ『経済と地域社会の発展』
に基づいています。

実は3年前、私が地区ロータリー財団委員会に
関わっていた時この新補助金制度に移行され、こ
の6つの重点分野と言う言葉が出てきたわけ
ですが、その6つの重点分野の中で『経済と地域社会
の発展』は『識字率向上』とか『水と衛生』など
他の5項目に比べ何を手助け或は援助すればよい

のか具体的な活動が分かりにくいと言う話があり
ました。

この『経済と地域社会の発展』はロータリーの
国際援助の方法として従来型の物品を提供する支
援ではなく世界の貧困地域の経済発展を目的とし
た、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含
む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援活動
を行う事を目的にしています。

たとえば水道設備の提供では、単に井戸を掘り、
水道ポンプを設置し提供するだけに止まらず、そ
の地域の組織・リーダーまでも育て、その設備を
維持運営できる組織を立ち上げるまで支援して行
くことが重要で必要だとしています。

今日の卓話は上越ものづくり振興センター所長
の澤海雄一さんから話を頂きます。

出席報告

出席率 94.0%

ビジター

瀬川由樹子君・平丸真騎君（高田 RAC 会長・幹事）

お客様スピーチ



高田 RAC 瀬川由樹子会長
11月22日 地区RAC会
長の公式例会訪問のご案内

メイクアップ

牧野章一君・高坂光一君（10/24・25 ライラ研修）

セレモニー

米山記念奨学会より感謝状贈呈（60周年記念事業の寄付に対して）高田クラブに対して
ワールドクラス認証ピン贈呈（ラビンドラン RI 会長より）高田クラブに対して

会員スポンサーバッチ贈呈 齋藤尚明君（助川毅君、夏井陽三君の入会に対して）

委員会報告

職業奉仕委員会——11月13日上越医師会館での移動例会

昼食 12:00～12:40(到着次第 随時)

例会 12:45～13:00

卓話 13:00～13:30(会員卓話:小柳勝司君)

幹事報告

配布物：週報No.16、ロータリーの友11月号

回覧物：財団ニュース11月号、高田 RACNEWS

報告：地区大会 参加者へのご案内

（11月1日 6:50 デュオセレッソ集合）

講話

上越のものづくり



上越ものづくり振興センター 所長 澤海 雄一様

皆さんは小惑星イトカワを観測するために2003年5月に鹿児島県内之浦から打ち上げられ、イトカワの表面を詳しく観測してサンプル採集し、2010年6月、予期せぬ様々な苦難を乗り越え7年の歳月60億キロの旅を終えて地球に戻ってきた「はやぶさ」を覚えておいでかと思います。この「はやぶさ」には、上越市の2つの企業の製品が搭載されていました。一つは㈱有沢製作所のサンプル回収のために硬い地表に穴を穿つための伸展材です。もう1つはカプセルを無事地球に帰還させるためのパラシュートの紐で、これはホシノ工業㈱の製品です。このように、上越には世界に誇る素晴らしい技術を持った企業が数多くありますが、最終製品を持つ企業が少ないため、私たちの目に触れる機会がほとんどないのが実情です。

こうしたことから、市では平成21年9月に「ものづくり振興センター」を設立し、市内製造業の人材育成や新産業育成、産学連携やビジネスマッチング、最近ではメイドイン上越認証品を通しての市場開拓等を支援しています。メイドイン上越推進事業は工業製品と特産品の2分野がありますが、入口である製品・商品の企画・開発から出口である販売までをトータルでサポートし、優れた商品の販売促進を通して産業活性化や雇用促進を図ることを目的に一昨年スタートさせました。今年3月には北陸新幹線が金沢まで延伸開業されました。首都圏、関西圏、中京圏、北陸圏と日帰りでビジネスできるというポジショニングをいかして、市内産業が活性化するようしっかり支援していきたいと考えております。